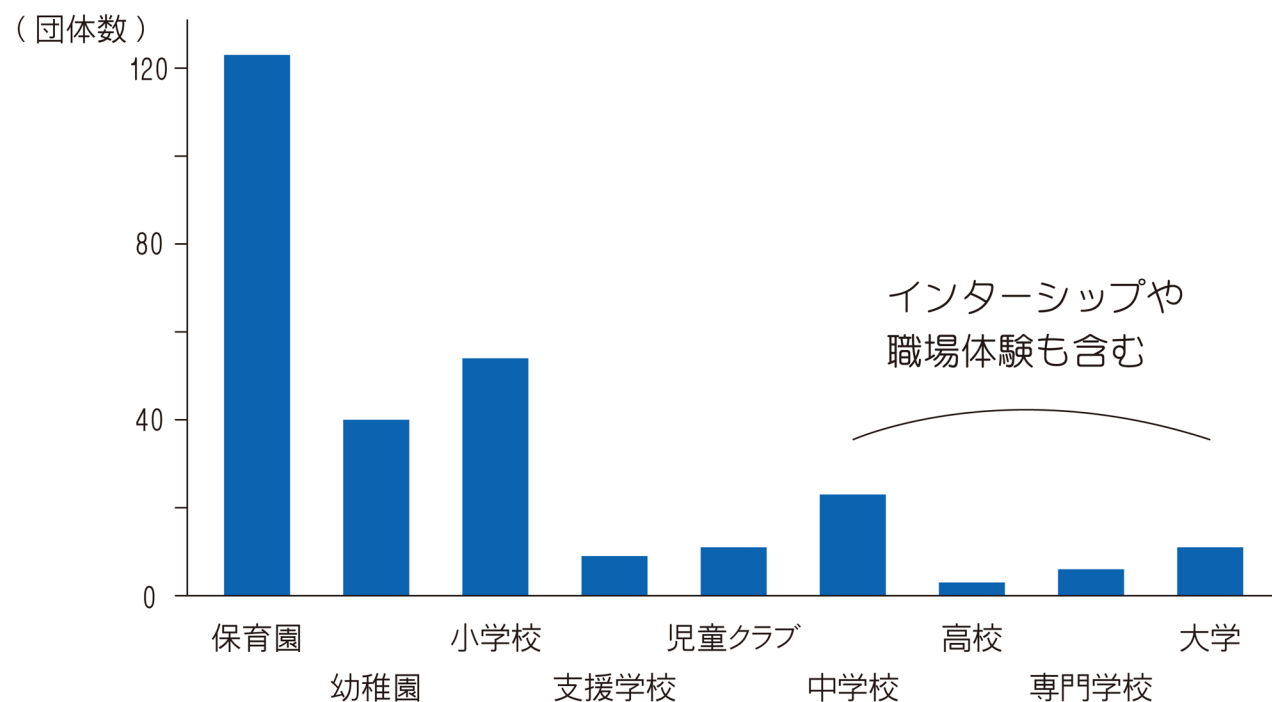


## 生物園の団体利用状況



足立区生物園には年間を通じ多くの来園者があり、団体利用者は全体の約1割を占める（H28年度）。また、その中の約7割が学校等の教育施設であり、団体別にみると保育園の利用が最も多い。



## 教育施設への対応内容

### 幼稚園・保育園

- ・午前2時間程度の見学が多い
- ・通常園内見学  
（モルモットふれあい、エサやり見学等）



モルモットふれあい



昆虫のエサやりの見学

通常対応にとどまる。  
幼稚園・保育園を対象とした団体向けプログラムがない。

### 小学校

- ・午前2時間程度の見学が多い
- ・通常園内見学  
（モルモットふれあい、エサやり見学等）
- ・クイズラリー
- ・授業に合わせた解説やふれあい  
「チョウの一生」  
「足立区の生きもの紹介」
- ・出張授業  
「校庭の生きもの観察」  
「モルモットと仲良くなろう」



「チョウの一生」について解説受ける

生物園の利用頻度や授業内容などが異なるため、学校、学年により対応の偏りがある。

### 中学校・高校

- ・午後1時間程度の見学が多い  
職場体験の場合は2～3日
- ・通常園内見学  
（モルモットふれあい、エサやり見学等）
- ・理科系部活動の見学や対応（質問など）
- ・職場体験、職場訪問



職場体験で昆虫の飼育について話を聞く

キャリア教育のみにとどまる。  
中学生・高校生向けの、生物や環境に対する教育プログラムがない。

## 教育研究会の発足

生物園の団体対応やプログラムは教育現場の声を全てくみ取れているとはいえない



教育の実務者や専門家から要望をいただき、生物園での環境教育プログラムを開発する

- ・今年度には第1回目の開催を行い、生物園の概要紹介や団体向けプログラムの実演を行う。
- ・今後は年度で2回ずつ開催し、新たな団体プログラムの開発や評価を行っていく。

### ①保育園・幼稚園



### ②小学校



### ③中学校



\*幼児発達、動物園、動物愛護を専門とする